

2024年3月期 決算補足説明資料

2023年4月1日～2024年3月31日

株式会社ショクブン 証券コード：9969

SHOKUBUN



2024年3月期決算の概要

SHOKUBUN

2024年3月期 決算ハイライト

2024年3月期決算の概要

(百万円)	2023年3月期		2024年3月期						
	通期	構成比	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	前年度比
売上高	7,017	100.0%	1,592	1,517	1,780	1,502	6,393	100.0%	91.1%
売上総利益	2,718	38.7%	612	560	673	585	2,432	38.0%	89.5%
営業利益	203	2.9%	△0	△30	69	12	51	0.8%	25.4%
経常利益	190	2.7%	0	△32	72	10	50	0.8%	26.3%
親会社株主帰属 当期純利益	268	3.8%	△13	△33	0	22	△15	0.0%	0.0%

当連結会計年度の業績は、売上高が63億93百万円(前年度比91.1%)、経常利益は50百万円(前年度比26.3%)、親会社株主に帰属する当期純損失は、△15百万円(前年度は 2 億68百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

商品別売上高

2024年3月期決算の概要

(百万円)	2023年3月期					2024年3月期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	前年度比
メニュー商品	1,575	1,615	1,697	1,570	6,458	1,535	1,429	1,482	1,403	5,851	90%
特売商品	57	69	324	108	558	57	88	298	98	542	97%
合計	1,632	1,684	2,021	1,678	7,017	1,592	1,517	1,780	1,502	6,393	91%
構成比 (対通期)	23%	24%	29%	24%	100%	25%	24%	28%	23%	100%	

- 前期との対比では、メニュー商品売上高91%、特売商品売上高97%、合計売上高91%となりました。
- 例年と同様、年末の特売により、第3四半期の構成比率が高くなりました。
- 今年度はクリスマス・年末特売商品売上高が前期との対比で△26百万円という結果となりましたが、これに対する売上施策として有名外食チェーンとのコラボレーション企画を昨年12月から主力メニューキットにて展開してまいりました。
- 昨年9月に開始した高齢者施設様向けの事業食メニューの件数は徐々に増加していることから、更に経営資源を投下し売上の拡大を加速させてまいります。

支社別売上高および営業利益

2024年3月期決算の概要

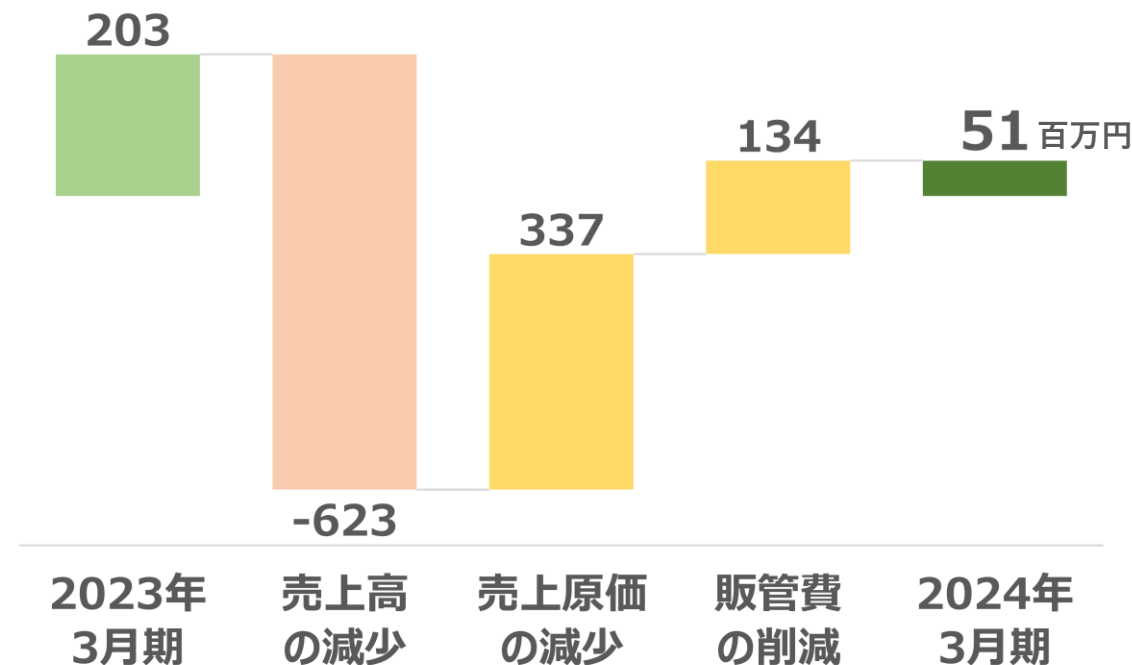
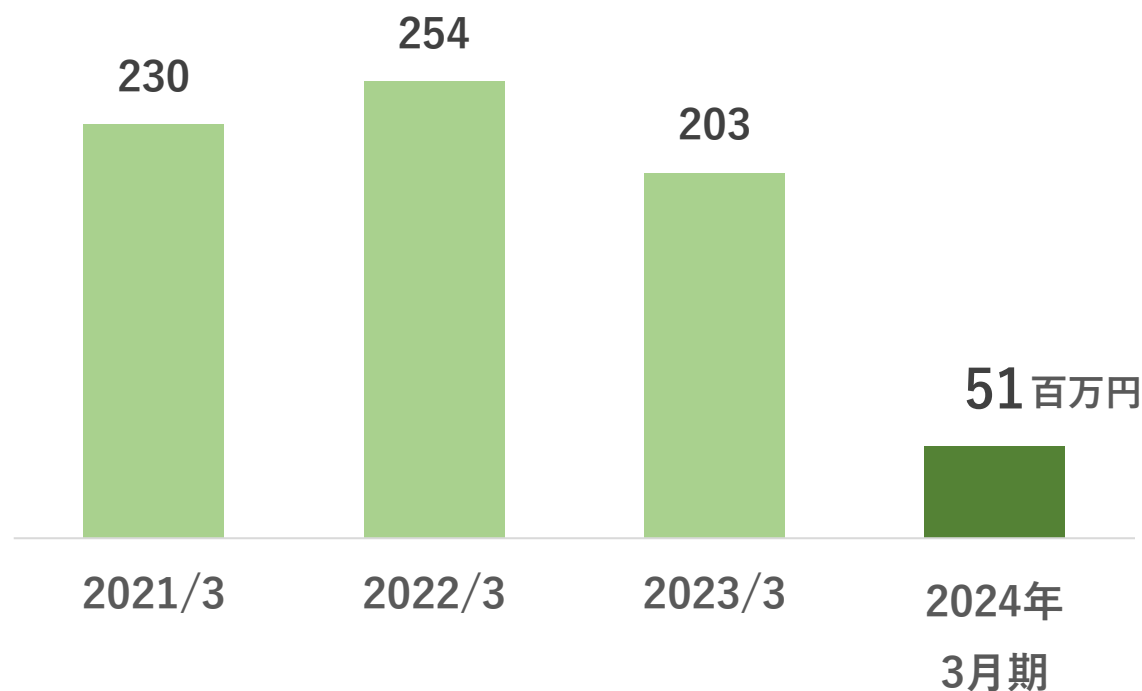
(百万円)	売上高					営業利益				
	2023年 3月期 通期	2024年3月期				2023年 3月期 通期	2024年3月期			
		1-2Q	3-4Q	通期	前年度比		1-2Q	3-4Q	通期	前年度比
愛知支社	3,581	1,520	1,584	3,105	87%	474	190	218	408	86%
三重支社	942	418	447	866	92%	114	47	63	111	97%
岐阜支社	1,070	591	620	1,211	113%	165	79	106	185	112%
大阪支社	780	284	292	577	74%	131	△2	4	2	2%
京滋支社	544	250	266	516	95%	36	6	13	20	56%
合計	6,919	3,064	3,212	6,277	91%	913	321	589	657	80%
構成比(対通期)		49%	51%	100%			49%	62%	100%	

※2024年3月期より、愛知支社に所属していた、多治見営業所、瑞浪営業所は岐阜支社に移管し集計しております。

※子会社、本部経費、フランチャイズを除いた数値となっているため、売上高・営業利益の合計額は連結決算と一致しません。

営業利益の推移

2024年3月期決算の概要



- 営業利益は、51百万円(前年度比25.4%)となりました。
- 売上高につきましては行動規制の緩和による中食機会の減少、物価上昇による買い控え傾向の影響により減少、売上原価につきましても生鮮野菜・加工食品等の値上げや、人件費等の高騰により収益圧迫を受ける結果となりました。
- これらの結果を踏まえ、事業構造の大幅な見直しに既に着手しており、製造現場のシフト制導入、多能工化等による作業工程の見直し、機械導入による作業効率化及び個人宅への配送現場では配送自動化システムの導入による新たな仕組み作りにより固定費の変動費化を進めて参ります。

貸借対照表の概要

2024年3月期決算の概要

(百万円)	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
流動資産	2,266	2,018	△247
固定資産	3,443	3,516	72
資産合計	5,710	5,534	△175
流動負債	2,492	1,843	△649
固定負債	587	1,093	505
負債合計	3,080	2,937	△143
純資産	2,629	2,597	△32
自己資本比率(%)	46.1	46.9	
負債純資産合計	5,710	5,534	△175

- ①現金及び預金等が1億70百万円減少したこと等に伴い、資産合計は前連結会計年度末に比べ1億75百万円減少の55億34百万円になりました。
- ②繰延税金負債（固定負債）等が73百万円増加しましたが、リース債務（固定負債）が62百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が1億45百万円減少したこと等に伴い、負債合計は前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少の29億37百万円になりました。
- ③退職給付に係る調整累計額が60百万円増加しましたが、剰余金の配当により繰越利益剰余金が76百万円減少したこと等に伴い、純資産合計は前連結会計年度末に比べ32百万円減少の25億97百万円になりました。

キャッシュフローの動向

2024年3月期決算の概要

(百万円)	2023年 3月期	2024年 3月期	増減
営業活動による キャッシュフロー	83	219	135
投資活動による キャッシュフロー	314	△63	△378
財務活動による キャッシュフロー	△605	△326	278
現金及び現金同等 物増減額	△206	△170	35
現金及び現金同等 物期末残高	1,858	1,687	△170

期末の資金は、前期末との対比で1億70百万円減少し、16億87百万円になりました。

- ① 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益47百万円、減価償却費1億52百万円等の計上、及び仕入債務の減少額23百万円等を計上した結果、増加した資金は2億19百万となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出63百万円等により、減少した資金は63百万円となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入による収入6億65百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出8億10百万円、リース債務の返済による支出1億4百万円等による資金の減少により、減少した資金は3億26百万円となりました。

配当の状況（直近5年）

2024年3月期決算の概要

		2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
1株当たり純資産額	(円)	47.56	143.73	158.80	170.06	164.12
1株当たり配当額 (内1株当たり中間配当額)	(円)	— (—)	— (—)	5.00 (—)	5.00 (2.50)	5.00 (2.50)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)	(円)	14.52	18.58	15.07	19.15	△0.94
配当性向	(%)	—	—	33.2	26.1	—

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題として位置付けており、配当政策は、株主の期待に応える長期的かつ安定的な配当の実現を基本方針としております。



- 当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。
- 2023年3月期より、これまで1,000株以上保有の株主のみを優待対象としておりましたが、500株以上保有の株主も対象に含めて株主優待制度を実施しております。

保有株式数	優待品
500株以上1,000株未満	富山県産コシヒカリを使用した パックご飯（10パック）
1,000株以上	富山県産コシヒカリを使用した パックご飯（24パック）

6月中旬～7月上旬にかけて発送致します。

富山県北アルプスの天然水仕立て
入善町こしひかりパックご飯

(参考) 今後の事業展開

SHOKUBUN

コラボ・ご当地グルメ商品

今後の事業展開

シ
ヨ
ク
ブ
ン



企画・商談・取材



メニュー掲載

コラボ・企画メニューのPR動画を作成してQRコードより公開、ご当地メニューの認知や営業ツールとして活用しております。



岐阜飛騨郷土料理
鶏ちゃん焼き



「キムカツ」
ミルフィーユカツ



大分県郷土料理
りゅうきゅう丼



お
客
様



QRコード読込



PR/作り方動画視聴

ミールキットの作り方をQRコードよりネット上に公開してペーパーレス化とユーザーの利便性向上を推進しております。



あかうおの香味煮



さばの白しょうゆ漬焼き



ひじきの白あえ



じゃことわかめの酢の物

おそうざいお届け形態イメージ

ご注文は **2** ケース 以上から承ります

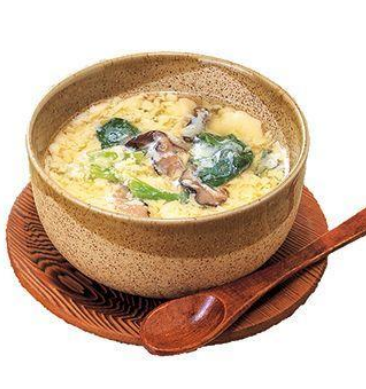


人手不足が課題の施設様に、時短調理/長期保存が可能な冷凍完調品等の提案を積極的に推進しております。

当社が培ってきたノウハウを生かし、施設様向け事業に経営資源をさらに投下し、販売力の強化・事業規模の拡大を加速させて参ります。

自社商品開発

今後の事業展開



製造設備、開発ノウハウを生かし、既存PB商品のブラッシュアップを含め、よりご満足頂ける新商品の開発をさらに強化して参ります。

SNSの強化

今後の事業展開

マーケティング部門の更なる強化と専門家との協働によるweb戦略の再構築を進めて参ります。



公式LINE
友だち 5,397人



X (旧Twitter)
フォロワー 4,764人



instagram
フォロワー 2,476人



Youtube
チャンネル登録者数 179人



私たちは大地の恵みに感謝をし、食文化と健康づくりに貢献します。

2024年3月期は社会活動が正常化に向かい、人流の活発化やインバウンド需要の拡大等により景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方、資源・原材料価格の上昇、円安の進行等による物価上昇が続く事により、消費者の節約志向は高まっております。昨年に続き私たちの生活に影響を及ぼす事象が非常に多かった1年でしたが、当社は引き続き、社是である「大地の恵みに感謝をし、食文化と健康づくりへの貢献」を追求してまいります。

当社のサービスを通じて、より豊かに、より簡便に、安心して「食」にアクセスしていただけるよう、今後もチャレンジ精神旺盛な企業風土と、時代と経済環境にマッチした商品開発及び販売手法の構築を推進いたします。また、事業構造の大幅な見直しに着手し、多能工化、作業工程の見直し、作業の自動化、自由な働き方の導入等により固定費を変動費化させ、これらを中心とした事業構造の転換により「稼ぐ力」の醸成を図ります。

引き続き安心・安全の体制を強化し、より多くのお客様に当社のサービスを楽しんでいただけるよう努めて参ります。

ESGへの取組み

E

Environment

S

Social

- 食卓でのフードロス削減に貢献
- 宅配によるユーザーの移動削減
- 森林保全活動への寄付
- あいち子ども食堂ネットワーク様への食材提供
- 家事負担軽減によるワークライフバランスへの貢献
- 女性社員の活躍
- 外国人の採用強化によるダイバーシティ促進
- 地域見守りネットワークへの参加

G

Governance

- ガバナンスコード
- コンプライアンス、内部統制強化

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナシップで
目標を達成しよう



本資料にかかる免責事項

本資料は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しており、当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

また、本資料が基礎とした情報の中には、決算短信及び四半期報告書の財務諸表に基づく財務情報並びに財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれており、いずれも独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていないことをご了承ください。

SHOKUBUN

株式会社ショクブン

証券コード：9969